

問

新型コロナウイルスワクチン接種のスムーズな運営を行うためには、現場での人員確保が不可欠であると考えますが、どうでしょうか。

答

予約の状況に応じて増員するほか、必要な改善を図り適正かつ効率的に運営を進めていく。

ウィズコロナ・アフターコロナでの経済対策について

問

アフターコロナに向けた経済対策として「世界遺産のまち」

の活用は、コロナ不況の起爆剤に成り得ることから、戦略的に進めていく必要があると考えるがどうか。

答

ヘリテージツーリズムのニーズの高まりを踏まえ、プレミアムツアールの実施、日本政府観光局のウェブ

サイトへの動画掲載など海外に向けた発信、また、受入態勢の強化としてジュニアガイドの育成や土産用商品・体験プログラムの開発などに取り組んでいく。北東北の縄文遺跡群世界遺産登録は最大の推進力になると考えてい

教育環境について

問

学校統合により生じた負担の中で、特に声が多く聞かれる通学の負担を減らすべく、スクールバスのルート変更や延伸、通学費負担のさらなる軽減をするべきと考えるがどうか。

答

統合に伴う通学対策として、スクールバス運行や路線バスの定期券購入助成をしている。スクールバスのルート変更などについては、学校やPTA

側から挙げられていて要望内容を検証し、対応について検討する。

栗山 尚記 議員
(鹿真会)

質問した項目

- 新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種について
- ウィズコロナ・アフターコロナでの経済対策について
- 教育環境について



録画配信はこちらから

問

コンパクトなまちづくりとして、中心市街地へ居住してもらう制度の検討について伺う。

答

中心市街地での居住人口の集積を目的に、中心市街地への住み替えを促進する施策を進める。

ICT活用教育事業について

問

児童生徒一人一台のタブレット端末が整備されたがその使用状況は。

答

中学校の社会科や理科、体育科の授業で活用が始まっている。体育科の陸上競技の授業では、生徒が学習課題を設定するとき

成田 哲男 議員
(誠心会)

質問した項目

- 中心市街地空き家リセット・利活用事業について
- ICT活用教育事業について
- ホストタウン推進事業について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 学校運営協議会について

に様々な種目の動画と書籍資料を併用している。各校での端末操作研修会がまもなく終了することから、6月からは小学校での活用も増えていくと考える。

問

タブレットの使用による健康面への影響について対策を伺う。

答

予防接種の期間の令和4年2月28日までコールセンターや医療機関に連絡し、予約することで接種は可能となる。

答

児童生徒向けの活用のルールで、正しい姿勢や30分に一度、遠くの景色を見て目を休ませることなどを定めている。また、生活リズムが乱れないように家庭と連携して見守り、日常観察や学校健診を通し、健康に配慮していく。

問

接種が始まっているが、接種券の送付に気付かなかったが、予約しなかったがその後に希望する場合の対応について伺う。

新型コロナウイルスワクチン接種について

令和4年2月28日までコールセンターや医療機関に連絡し、予約することで接種は可能となる。



録画配信はこちらから